

科目	担当教員	課題																																																																					
看護の統合と実践 A	黒瀬	「医療安全ワークブック」：U N I T 1 注射 SECTION 1～24 1 各 SECTION の Q & A を解く 2 各 SECTION の C o m m e n t を読み、重要だと思う所に 3 か所線を引く ※前回の課題と一緒に、5 月 11 日(月)9 時までに係が集めて提出																																																																					
基礎看護学概論	尾崎	追加：看護学概論（医学書院）P2～P17 まで読み、重要部分に鉛筆で線を引いたり、マークをつける。教科書の提出は必要ないが、授業再開後、この範囲のプリントを配るため、すぐにできるようにしておくこと。																																																																					
基礎看護学方法論 I	海老名	1. 基礎看護技術 I P90～108、フィジカルアセスメントがみえる P2～63 をよく読んで自己学習する。（バイタルサイン（基準値や測定方法や部位・正常と異常等）については自己学習で復習すること。→考査にです。） 2. 1をした後に、<u>B5レポート用紙</u>に下記をまとめる。 ① 発熱時の援助について簡潔にまとめなさい ② 自分の平熱を知る。→1 週間毎朝同時間に体温を測定、記録。 ↓【記入例】以下の表の例をレポート用紙に書いて記録する。 <table><tr><td>日</td><td>例 5 / 1 (木)</td><td>/ ()</td><td>/ ()</td><td>/ ()</td><td>/ ()</td><td>/ ()</td><td>/ ()</td><td>/ ()</td></tr><tr><td>時間</td><td>7 : 0 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>体温</td><td>3 6 . 5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>状況</td><td>起床後</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>体調</td><td>食後</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ③自分の脈拍と 5 人の家族または日を変えて 5 回分の脈拍を触知してみよう。 ↓【記入例】以下の表の例をレポート用紙に書いて記録する。 <table><tr><td>測定者（年齢）</td><td>日付・時間</td><td>脈拍数</td><td>脈の性状</td></tr><tr><td>例：妹（12）</td><td>4 / 25（15 時）</td><td>回 / 分</td><td>整脈</td></tr><tr><td></td><td>/ （ 時）</td><td>回 / 分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>/ （ 時）</td><td>回 / 分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>/ （ 時）</td><td>回 / 分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>/ （ 時）</td><td></td><td></td></tr></table> ④呼吸の異常についてまとめなさい。【みえる P65～66】 <u>（5 月 11 日提出）</u>	日	例 5 / 1 (木)	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	時間	7 : 0 0								体温	3 6 . 5								状況	起床後								体調	食後								測定者（年齢）	日付・時間	脈拍数	脈の性状	例：妹（12）	4 / 25（15 時）	回 / 分	整脈		/ （ 時）	回 / 分			/ （ 時）	回 / 分			/ （ 時）	回 / 分			/ （ 時）		
日	例 5 / 1 (木)	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()																																																															
時間	7 : 0 0																																																																						
体温	3 6 . 5																																																																						
状況	起床後																																																																						
体調	食後																																																																						
測定者（年齢）	日付・時間	脈拍数	脈の性状																																																																				
例：妹（12）	4 / 25（15 時）	回 / 分	整脈																																																																				
	/ （ 時）	回 / 分																																																																					
	/ （ 時）	回 / 分																																																																					
	/ （ 時）	回 / 分																																																																					
	/ （ 時）																																																																						
老年看護学概論	海老名	老年看護学概論の教科書 P 2 ～P21 をよく読み、P21 のゼミナール①～⑥について、B5 レポート用紙にまとめなさい。 <u>（5 月 11 日提出）</u>																																																																					
老年看護学方法論	魚本	潰瘍性大腸炎・クローン病の病態について、教科書をみてまとめてくる。看護についてはしなくていいです。 大切だと思うところは教科書にアンダーラインを引いてくる。（5 月 11 日提出）																																																																					
基礎看護学方法論	魚本	基礎看護技術 II P374～382 を読んで、大切だと思うところにはアンダーラインを引いてくる。																																																																					
成人看護学方法論 A	稲毛	医学書院の呼吸器の教科書 P. 1 3 6 ゼミナール①～⑨を解答する。 レポート A4 用紙（A 罫）を使用すること。5 月 1 1 日提出																																																																					

成人看護学方法論 B	稲毛	医学書院の脳・神経の教科書 P.50②③⑤⑥⑨⑩を解答する。図も描いて分かりやすくすること。レポート A4 用紙（A 罫）を使用すること。 <u>5月11日提出</u>
成人看護学概論 看護の統合と実践 C	伊賀	成人看護学総論の1章と2章を読み、大切だと思う所にアンダーラインを引く。2章のP42～P61の中の図2-1から図2-17のグラフや表より、分かることをまとめる。 教科書緩和ケアの本P18のゼミナール①から④についてまとめる。
在宅看護論概論	山原	※パソコンを使用する場合は、<u>本人が作成したことの証明として、毎ページ（ヘッダー、又は、フッター等）に出席番号と氏名を必ず入力（パソコン時は手書き不可、手書きは手書きで名前記入）</u>すること。 ※学習したことのある内容なので、復習も兼ねてしっかり学習しましょう。 ① 高3の社会保障の授業で用いた、まとめ一覧表を再度覚える。特に、在宅看護に関係する介護保険・医療保険、障害者福祉に関するものはしっかりと覚えること。…提出不要。（ペーパーテスト内容） ② 医学書院「在宅看護論」P84～90「C 介護保険制度」（※適宜、高3社会保障学習資料を参照）を読み、以下の点についてまとめなさい。提出締め切り：登校日の17:00 ・保険者、被保険者、サービスを受けられる対象者（受給権者） ・利用までの流れ：申請、訪問調査（高齢者の心身の状況調査）、一次判定、二次判定、本人への通知、サービス利用に向けての契約やサービス計画書の作成について ・予防給付の対象者、予防給付の対象者 ・介護給付におけるサービスについて、サービス名を書き出す。（居宅サービス、施設サービス、居宅介護支援、地域密着型サービス） ・利用者の自己負担割合と高額になった場合の制度 ※①②の内容で、理解しにくいところや再度説明してほしいところがあれば、授業担当生徒がグループに意見を取りまとめ、初回授業までに提出してください。授業内で追加説明します。
基礎看護学方法論ⅡA	山原	※パソコンを使用する場合は、<u>本人が作成したことの証明として、毎ページ（ヘッダー、又は、フッター等）に出席番号と氏名を必ず入力（パソコン時は手書き不可、手書きは手書きで名前記入）</u>すること。 ・「EBN」と「EBP」について、簡単に説明しなさい。（P21） ・「EBPを行うためのプロセス（5つの段階）」（P21）（項目のみ）を書き出す。 ・「リサーチエスチョン、研究テーマ、研究課題の違い」（P33）について、説明しなさい。（例は不要） ・「リサーチエスチョン決定までのフローチャート」（P34）を見ながら、今までの授業を振り返りなさい（提出不要）。 ・「FINERの基準」（P40）を書き写しなさい。また、これに照らし合わせて、自分たちのグループの研究のリサーチエスチョンをみてみましょう。不適切、または、再度考え直す必要があるようなら、早急にグループ内で話し合いましょう。（但し、電話などを利用し、合わずに相談して下さい。） ・看護研究を行うにあたっての「遵守すべき倫理原則（4つ）」と

		「擁護すべき権利（7つ）」を書き写し、内容をよく読んでおくこと。 ・研究デザインの整理（P118）：「質的研究」と「量的研究」とはどのようなものを言うか、また、「ミックスドメソッド」とは何か、簡単に説明しなさい。 ・調査回数に着目した分類には「横断研究」と「縦断研究」がある。それぞれ簡単に説明しなさい。
--	--	--